

平成27年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成27年2月19日）

質問者 民主党 竹内 圭司 議員

質問要旨	答弁要旨	答弁者
<p>11. 特別支援学校卒業生のその後について (1) 特別支援学校高等部卒業生の進路状況はどうか。</p>	<p>平成25年度の公立特別支援学校高等部の卒業生862名については、福祉施設への通所や入所が最も多く、全体の約60%を占めております。次いで、民間企業等への就職が約34%で、その他の生徒については、進学あるいは家業の手伝い等となっております。</p>	<p>教育長 瀧本 寛</p>

平成27年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成27年2月19日）

質問者 民主党 竹内 圭司 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>1 1. 特別支援学校卒業生のその後について</p> <p>(2) 特別支援学校卒業後の生活に向けて、在籍中の生徒に対し、どのような取組を行っているのか。</p>	<p>1 特別支援学校では、卒業後の生活が円滑におくれるよう、在学中に、生徒一人一人に合わせた計画を作成し、これに基づいて、本人や保護者が卒業後の生活を見通せるよう支援をしております。</p> <p>2 また、進路選択に当たっては、本人や保護者の希望を第一とし、障害の状況や適性に応じて、居住地の行政機関や相談機関との連携を図り、早い段階から進路相談会等を開催しております。</p> <p>3 なお、卒業後3年間を目安に、卒業生全員について、進路先における適応状況や家庭における生活状況を把握するとともに、卒業生やその家族から相談があった場合は、その解決に向けて関係機関等と連携し対応しているところであります。</p>	<p>教育長 瀧本 寛</p>

平成27年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成27年2月19日）

質問者 民主党 竹内 圭司 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>1 1. 特別支援学校卒業生のその後について (3) 障害者が福祉サービスを利用する場合の計画の作成状況と今後の対応はどうか。</p>	<p>1 千葉県内の計画の作成状況については、一部市町村の相談支援体制の整備の遅れなどから、平成26年12月時点での作成率は、障害者のものが62.3パーセント、障害児のものが55.9パーセントに留まっています。</p> <p>2 全国平均でも同程度の作成状況のため、国では平成27年度の暫定的な措置として、事業者による計画作成の目途が立たない場合は、各市町村が替わって計画を作成できることを方針として示しました。</p> <p>3 県としては、市町村による計画の作成に資するよう、先月、市町村職員を対象とした研修を実施したところであり、平成27年度も引き続き同様の研修を実施してまいります。</p>	<p>副知事 諸橋 省明</p>
<p>(再質問) 計画作成が遅れている市町村があるとのことだが、県としてはどのような取組をするのか。</p>	<p>1 県では、各市町村における取組等を調査し、得られた先進事例等を各市町村に周知するなど、市町村における相談支援体制の整備の支援に努めてまいります。</p> <p>2 また、相談支援専門員について、平成24年4月の法改正以降、毎年500名以上養成しており、今後も相談支援に従事する人材の育成に引き続き努めてまいります。</p>	<p>副知事 諸橋 省明</p>